



# 夢をかたちに

週報

2008～2009年度 RI 会長

李 東 建

RI2730 地区ガバナー

安満 良明

鹿児島市内分区ガバナー補佐 上原 一八

## 鹿児島東南ロータリークラブ

会長 野井倉 洋豪 副会長 山田忠茂 幹事 須部 純範

(例会日、場所) 毎週火曜日、鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル Tel 099-253-2020

(事務局) 〒890-0062 鹿児島市与次郎一丁目8-10

サンロイヤルホテル4F Tel 259-6855 Fax 259-1622

E-Mail [tounanrc@alto.ocn.ne.jp](mailto:tounanrc@alto.ocn.ne.jp) ホームページ <http://www.tounanrc.jp/>

第1931回 No.18

平成20年11月18日(火)

本日のプログラム

地区大会報告

### 第1930回例会

#### 会長挨拶

野井倉洋豪会長

今回は1930回の例会です。前回は介護についての話もありましたので、本日は今後の介護制度についてお話します。日本の人口構成は 昭和25年度は 年少人口(0-14才)29,428(千人) 35.4%、生産年齢人口 19,658(千人)59.7% 老年人口 1,109(千人) 4.9% であった。その後57年後の 平成19年度は 年少人口 13.5%、生産年齢人口 65.0% 老年人口 21.5% と老年人口の増加 年少人口の減少が認められています。今後の経過は 後50年後 平成67年には 年少人口 16.4% 生産年齢人口 56.1% 老年人口 40.5% と約2倍に増加してきています。今後50年後に 老人の増加がピークに達し その後減少の傾向が認められこと予想されます。

今後さらに介護の関する事業も検討を要するものと考えられます。ちなみに 本県では 年少人口 14.0% 生産年齢人口 60.3% 老年人口 60.3%にて 老年人口は 県別では全国 5位となっています。つぎに保険給付による介護制度については 以前は 要支援1 要支援2 要介護1 要介護2 要介護3 要介護4 要介護5 に区分されていましたが 今回改正のより 要介護1が要支援2に変更され、介護を受けている人の不自由さがみられてきています、さらに 要介護の区分4、5と判定せられても 自己負担の増加のより要介護度を落とさざるを得ない人もみられています。資料 総務省統計局「平成19年10月1日現在推計人口」

#### <ゲスト・ビジター紹介>

ビジター：徳留忠敬君(鹿児島西RC)

#### <会務報告>

○鹿児島市内会長幹事会の案内

日時:平成20年12月11日(木)18:30～

場所:山形屋1号館7F『フェニックス』

提案事項出欠は11/27までに。

○先週も話しましたが11月15日の地区大会でJRを利用される方は、加治木駅から送迎用バスが出ますのでご利用ください。第1本会議の始まるの時間がRI会長代理が12:25に入場されますので12:20までにはご着席くださいとのことです。なお受け付けは10:00ですが、JRを利用される方は鹿児島中央駅を10:00発か10:33の国分行きを利用されるといいと思います。自家用車の方も駐車場は確保してあるそうです。

○国際ロータリー第6510地区 GSE チームが来日しておりますが、今年11月2日～4日、11月16日～19日の鹿児島市内滞在は鹿児島RC、鹿児島城西RC、鹿児島東RC、鹿児島北RCがお世話します。

○訃報のお知らせ RI2730 地区 1983～84年度ガバナー丸田美徳様、2006～07年度鹿児島中央RC会長堅山博美様をご逝去されました。

#### ○クリスマス家族会のお知らせ

平成20年12月9日(火)サンロイヤルホテル 2F ハイビスカス 18:30～ 本人6,000円 家族(大人)4000円

今年度はオークションは40周年の来日される台北ランドパークRCの歓迎会資金に致しますので、一家族2点以上の商品提供をお願いいたします。





会員数	37名	前々回出席者	21名
出席会員	21名	メイクアップ	9名
出席率	56.75%	出席訂正率	81.08%

**スマイルボックス**

☆野井倉洋豪君—本日は宇都会員の会員卓話です。よろしくお願いたします。

☆松崎正年君—11月1日でまだ78歳の誕生日でした。11月14日が結婚記念日です。これから2人共元気で楽しい日々を送っていききたいと思います。お祝いありがとうございます。

☆宇都隆二君—本日は私、宇都の卓話です。よろしくお付き合いください。

☆内 政季君—先月は例会欠席が多く申し訳ありませんでした。

本日計 12,000円 累計 150,000円

**本日のプログラム**

会員卓話 宇都 隆二君

プロデュース業の歴史（ニーズの変化）・・・自分たち日本人



人の生活スタイルの変動とともに、結婚式におきましても顧客の求めるイメージはどんどん多様化し、ニーズの幅も広がってきました。1970

年代から80年代は画一的な結婚式が多く、結婚式を行うには一定の限られた選択肢しかなく、それはホテルや式場による提案型の形式的なウエディングでした。ところが90年代に入るとそれまでの“退屈・窮屈・つまらない”結婚式ではなく“個人的で楽しくてアットホームな”結婚式をしたいというニーズが増えてきて、レストランウエディングなどオーダーメイド式のオリジナルウエディングというスタイルが誕生しました。これにより婚禮ビジネス＝ホテル・専門式場独占という形態が崩れ、それぞれのお客様のニーズに応えられるプランニング能力をもつ“ウエディングプランナー”という仕事が誕生しました。また、顧客のニーズを実現化するプロデュース会社という専門業者が増えました。ブライダル業界の現状・・・ブライダル業界は現在全国で約4～5兆円のマーケットがあるといわれています。以前は限られた業種しか扱わなかったビジネスに、様々な他業種が参入するようになり大きく業界が変わろうとしています。プロデュース会社やブライダルエージェント会社が増えただけでなく、レストランウエディングが一定のシェアを維持したり、ファンド的なブライダル会社が全国的にゲストハウス展開、旅行業界が新婚旅行だけでなく海外ウエディングに、海外ウエディングだけのブライダル企業が急成長など、激変のブライダル業界は、今後の展開予測がつきにくいと

ころです。

ブライダル業界の課題・・・婚姻数の減少⇒結婚適齢期年代の人口減少、晩婚化、非婚化 女性の社会進出（高学歴・高収入）結婚生活が絶対幸せとは限らない、結婚しない生き方、結婚は望まないが子供は欲しい

結婚に対する価値観の変貌⇒日本は従来、結婚は地縁・血縁を重視した家と家との結びつきという考え方が強く、恋愛結婚は少数派だった、戦後から高度成長と時代が変わるにつれて、見合い結婚から恋愛結婚へと比率は逆転しとえ個人と個人の結びつきとして結婚を捉え、愛という絆で結ばれるべきもの、とかんがえられ、その愛が消滅すると、当然離婚も自然と受け入れられます。

配偶者対策・・・出会いのチャンスに恵まれず、結婚したくてもできない男女におせっかいおばさんのように半ば強引に縁談を薦めるのも必要な気がします。

成功の法則 3・3・3の法則

嫌でなければ3回は会う（3回会えば煩惱がわく）

3ヶ月以内に結婚の意志を固める（結婚を前提でなければ別れる）その後3ヶ月以内に結婚式（急がせないとまた悩む）結婚思想の啓蒙・・・日本という国家の繁栄を願い存亡を憂う時、子孫を残していくには“結婚”が必要です。家族や家庭が社会を形成する原点です。先が見えないこんな時代にあえて“結婚”という文化の素晴らしさを伝えていき、社会を豊かにしていければと考えています。是非皆さんの地域や職場でも“結婚思想”を啓蒙していただければありがたいです。



11/25 クラブフォーラム ロククリー財団委員会		12/2 クラブ総会		12/9 クリスマス家族会 18:30～	
日/日	クラブ	例会場	プログラム(△変更)		
11 / 19 (水)	鹿児島南	サンロイヤル	会員卓話 下竹原弘志会員		
	鹿児島西	山形屋	クラブ協議会(地区大会報告9)		
	鹿児島西南	ゆうづき	地区大会報告		
11 / 20 (木)	鹿児島東	山形屋	会員卓話 新納幸辰君		
	鹿児島北	鹿児島東急ホテル	会員卓話 牧角・小杉・上野会員		
	〒791-0101	鹿児島東急イン	地区大会報告		
11/21(月)	鹿児島	山形屋	地区大会後のクラブ協議会		
11/24(月)	鹿児島中央	山形屋	祝日の為休会		
11/25(月)	鹿児島城西	鹿児島東急イン	ゲスト卓話 今別府英樹様		